

2018-2019年度
国際ロータリーテーマ

第2610地区 富山第4分区

Rotary  Takaoka West

高岡西ロータリークラブ



インスピレーションになるう

2019. 2. 6

No. 2087

②7②③

創立 1966年10月26日 認証 1967年1月25日 [国内創立順位 785] ● 会長 山田正博 ● 幹事 網 武志 ● クラブ会報 阪口政博、川津良成、広上利晴、野澤朱美、金田豊和、麻本和秀、古本恭三

第2518回 例会 2019年1月23日(水)

司会 中川眞彦 SAA

【報告事項】

- ◇開会点鐘 山田正博 会長
 - ◇ロータリーソング 「奉仕の理想」
 - ◇クラブソング 「吾等の集い」
 - ◇会長挨拶 山田会長
- 先週の新年例会はたくさん出席いただき楽しく盛り上がりました。ありがとうございます。インフルエンザで欠席された方もおいででしたが、インフルエンザが猛威をふるっています。お互い気をつけたいと思います。

今日は、久しぶりの商工での例会です。ゲストの穴田様は、高岡市農協組合長のときによくお見かけしました。私は五十里百橋の「美味しい米づくりの村」のJA組合員の農家です。コシヒカリを作っています。近年『富富富』がデビューし人気がありますが、まだ食していません。是非美味しい「お米」が食卓に届きますように！今季、大漁の予想が出ていました「氷見寒ブリ」は商標登録したものの出荷が19日で終了しました。伸び悩み14,125本の水揚げでしたが前季を上回ったそうです。ブリの水揚げは今後も続く見込みですので まだまだ食することが出来そうです(ブリは本で数えます)。

先日「大人になるとあっという間に1年が過ぎるのはなぜか」との放送がありました。それは人生にトキメキがなくなったからだそうです。なるほどそうだなと…「心がどのくらい動いているか」、「トキメキを、どのくらい感じるか」で、変わるそうです。何歳頃からだといいますと、皆さん全員に当てはまります。19歳を超えると時間が早く過ぎるように感じるそうです。時間の経過をゆっくりと感じるようになるにはトキメキを感じることを生活に取り入れる事です。例えば、「いろいろな物に興味を示す子供と同じ目線で一緒に行動する」「時間の経過を気にしない」「楽しい時間を過ごす」など。トキメキが生まれ時間がゆっくりになるかもしれません。ぜひロータリーでトキメキを見つけましょう！！

★会長報告
・RI細則第14.020.10節の定めにより、地区ガバナー指名委員会の選んだ七尾ロータリークラブ会員 神野正博 君を2021-2022年度ガバナーに就任するガバナーノミニー決定宣言がなされました。

★幹事報告
・例会変更、取消について
・当クラブの今後の予定について

★出席報告 宮崎委員
会員数 53名 出席者 36名
出席率 91.1%
*1/9例会：修正出席率 100%

★ニコニコBOX報告 古本委員
山田会長、網幹事、松崎さん「富山県農業協同組合中央会 穴田前会長、本日は卓話よろしくお願ひ致します。」
辻さん「雪がなくて暖かい日ですね。」
古本さん「先日2年ぶりにスノーボードに行き、翌日筋肉痛でズボンが寝ころがって履くハメになりました。」

合計 9,000円
通算 592,000円

本日のプログラム
会員卓話： 徳市 寛 会員
『自動車業界の今と、これから』

今後のプログラム
◎2/13(水) 雪見酒夜間例会
@やすらぎ庵 18:30~
◎2/20(水) 米山奨学生卓話
ソフィア ゴルロワさん
(富山大学大学院 生命融合科学教育部)
◎2/27(水) 上田東RC交流例会
@氷見 城山(交流懇親会)
*現在ご案内中。
翌日2/28(木)も参加箇所あり。
◎3/6(水) 卓話： 富山新聞社代表
小川 哲哉 様
◎3/13(水) クラブフォーラム
『社会奉仕』

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

プログラム：『グローバル農政と富山県農業の展望』

富山県農業協同組合中央会 穴田甚朗 前会長



穴田甚朗前会長より、富山県の農業についてをご経験をお話頂きました。

- ・貿易自由化と規制改革
（「平成」という時代のキーワード）
- ・食料自給率から見える農業の現状
- ・富山県農業のすがた…
- ・特徴ある富山県農業の展開
- ・県民ぐるみで地産地消の推進



第2519回

例会 2019年2月3日(日)

*1/30(水)を変更

2018-2019年度

国際ロータリー第2612地区

富山第4分区

都市連合会



2018-19年度国際ロータリーのテーマ

「インスピレーションになるう」

日 時：2019年2月3日(日) 14:00
場 所：ホテルニューオータニ高岡
ホストクラブ：高岡西ロータリークラブ

プログラム @ホテルニューオータニ高岡

◇開会点鐘

国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」

開会挨拶並びに後援者の紹介

ガバナー挨拶

◇講演Ⅰ：岡部一輝パストガバナー

「RLIについて」

◇講演Ⅱ：飯山暁朗 氏

「未来を変えるプラス思考のつくりかた」

◇閉会挨拶

◇閉会点鐘

ココ読んで！ロータリーの友1月号 By野澤委員

☆縦読み(右綴じ) P13 友愛の広場「ラシンRI会長のクラブにメイクアップ」

川崎麻生RCメンバーが国際会長の所属クラブにメイクアップに行かれた際のお話です。バハマ、イーストナッソーRCでの例会風景を届けて頂きました。バハマならではの楽しく明るい例会をご覧ください♪

☆当クラブ①の読書家である島会員の「私の一冊」が掲載されています！ ↓↓↓



高崎順子 著
新潮社(新潮新書)
2016年10月刊

現在、先進国の過半は少子化で悩んでいます。各国で出生率を上げようといろいろな努力をしていますが、成功している国はわずかです。日本も同様で、2016年の日本の合計特殊出生率は1.44。約25年前1.66にまで落ち込んだフランスは、同調査で1.96。フランス社会はどんな対策を講じて出生率を回復させたのかを、本書は紹介します。

要点は5つ。①父親に2週間の産休を取得させる ②無痛分娩で出産し、負担を軽減する ③保育園は連絡帳も運動会も無くす ④母親アシスタントが子どもの面倒を見る制度を作る ⑤3歳から全員、無償の保育学校で受け入れる。ポイントには経済支援だけでなく、「両立支援」がなされていること。つまり、徹底した「産みやすい環境作り」です。

(第2610地区 富山県)

私の一冊
フランスはどう少子化を克服したか
高岡西RC 島 竜彦